

NIAS (機能制限ライセンス) 簡易設定ガイド

iStorage NS シリーズ

商標について

- Windows、Internet Explorer、Hyper-V、Excel、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Active Directory は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Pentium は、米国 Intel 社の商標または登録商標です。
- PostgreSQL は PostgreSQL グローバル開発チームが著作権を有し、カリフォルニア大学のライセンスの元に配布されています。
- Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。
- Apache Tomcat、Tomcat は、The Apache Software Foundation の商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

略語・用語について

- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- NIAS は、NEC Information Assessment System の略称です。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NEC の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書の内容および本書を使用した結果について明示的にも黙示的にも一切の保証を行いません。

目次

1.	はじめに	1
1.1	概要	1
1.2	NIAS のプレインストールに伴う各種変更	2
1.2.1	NIAS プレインストールにより変更している OS 設定	2
1.2.2	NIAS と共にインストールされる OSS ソフト	3
1.2.3	注意事項	3
1.3	諸元	4
1.3.1	ディスク使用量	4
1.3.2	必要なメモリ量	4
1.3.3	NIAS の検査時間	4
1.3.4	NIAS 使用ポート	4
2.	NIAS を導入する	5
2.1	NIAS の導入を検討する	5
2.2	NIAS を設定する	5
2.2.1	iStorage NS の初期設定を NIAS に反映する	7
2.2.2	実行可能時間帯を変更する	10
2.2.3	検査スケジュールを変更する	12
3.	NIAS を運用する	14
3.1	検査を実行するには	14
3.1.1	実行可能時間帯を設定する	15
3.1.2	検査スケジュールを設定する	17
3.2	既存のグループに共有を追加するには	19
3.3	新しいグループを作成し共有を追加登録するには	21
3.4	Administrator のパスワード変更またはコンピューター名の変更を NIAS に反映するには	21
3.5	ビルトイン Administrator のユーザー名を変更した際の対処	21
3.6	検査対象を増やすには	23
3.7	シャットダウンのタイムアウト時間を変更するには	24
3.8	NIAS のサービスを無効化するには	25
3.9	NIAS のサービスを有効化するには	25
3.10	NIAS をアンインストールするには	26
3.10.1	NIAS のアンインストール	26
3.10.2	Apache Tomcat のアンインストール	27
3.10.3	NIAS シャットダウンスクリプトの削除	27
3.10.4	シャットダウンのタイムアウト時間を OS の既定値に変更	28

1. はじめに

1.1 概要

NEC Information Assessment System (以降、NIAS と記載) は、ファイルサーバーに格納された情報を最大限に活用するための製品です。ファイルサーバーの検査による、現状把握 (見える化)、格納情報の整理を支援する機能を持ちます。これらの機能を利用して、ファイルサーバーを健全な状態に保つことにより、ファイルサーバーの運用に関わる TCO を削減します。

iStorage NS シリーズにプレインストールしている NIAS (機能制限ライセンス) では、見える化の機能 (下記画面) のみ利用できます。他の機能は利用することができませんのでご注意ください。詳細については、【NIAS (機能制限ライセンス)利用ガイド 3. 見える化】をご覧ください。

- ホーム画面 . . . ファイルサーバーの見える化の機能を提供する画面です。
- ログ画面 . . . 処理の実行状況を確認する画面です。
- 設定画面 . . . NIAS の設定を変更する画面です。

iStorage NS シリーズの出荷時状態では、標準構成で NIAS をご利用いただくための最適な構成として、NIAS 検査対象ドライブを D ドライブとし、1TB に設定しています。

1.2 NIAS のプレインストールに伴う各種変更

1.2.1 NIAS プレインストールにより変更している OS 設定

NIAS をプレインストールすることにより、以下の OS 設定を変更しています。

- シャットダウンスクリプトの追加
シャットダウン実行時の **NIAS** 管理データ破壊を防ぐため、シャットダウンスクリプトを追加しています。シャットダウンスクリプトでは **NIAS** のシステムと関連サービスの停止、関連サービス停止完了の監視の処理を行っています。
- シャットダウンのタイムアウト時間延長
シャットダウンスクリプトの追加により、シャットダウンスクリプトのタイムアウト時間を 30 分に変更しています (OS の既定値は 10 分です)。また、OS のプレシャットダウンタイムアウト時間を 36 分に変更しています (OS の既定値は 15 分です)。
- スタートアップの変更
サインイン時、**NIAS** の管理画面が自動的に起動するようにスタートアップを変更しています。
- **NIAS** ショートカットアイコンの追加
デスクトップに **NIAS** のショートカットアイコン(**NIAS** 管理画面、ライセンスツール)を追加しています。
- 下記の Group Policy Client サービス(GPSVC)のレジストリにて、Administrator のアクセス許可を読み取り (OS デフォルト) からフルコントロールに変更しています。
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥gpsvc

1.2.2 NIAS と共にインストールされる OSS ソフト

NIAS のプレイインストールに伴い、以下の OSS ソフトがインストールされています。

- OpenJDK12
- Apache Tomcat 9
- PostgreSQL 10

上記の OSS ソフトを使用する他のアプリケーションをインストールすると、競合などの問題が発生する可能性があります。そのため、NIAS との共存はできませんのでご注意ください。NIAS をアンインストールする場合は、本書の【[3.10 NIAS をアンインストールするには](#)】を参照してください。

1.2.3 注意事項

- ・ iStorage NS シリーズでは、OS のファイル最終参照時刻の更新が無効となっているため、NIAS において最終参照時刻による分析を行うことはできません。
- ・ データ重複除去機能を利用している領域を NIAS の検査対象にする場合、NIAS の検査時間外に以下の設定を行ってください。なお、ファイル名の拡張子を表示するには、エクスプローラーの上部にある [表示] をクリックし、[ファイル名拡張子] にチェックを入れてください。
 - “C:\Program Files (x86)\NEC\NIAS\Crawler\ias-crawler.ini” をメモ帳で開き、CrawlSymbolicLinkFlag 設定を「1」に変更し、上書き保存してください。
 - “C:\Program Files (x86)\NEC\NIAS\Operation\Security\IASAuthorityOperator.ini” をメモ帳で開き、SymbolicLinkFlag 設定を「1」に変更し、上書き保存してください。

ただし、上記設定変更を行うと、検査対象内にフォルダーのシンボリックリンクが存在する環境では、そのシンボリックリンクの先をたどるようになるため、NIAS がファイルを二重カウントし、判断を誤る可能性があります。

1.3 諸元

NIAS 運用に伴う諸元を以下に記載します。

1.3.1 ディスク使用量

NIAS (機能制限ライセンス) では、以下のとおり C ドライブの容量を使用します。

	インストールのみ	運用時
プログラム	約 1.2 GB	約 1.2 GB
グループ管理のログ	0 MB	最大約 200MB/グループ
検査対象管理データ	0 GB	約 7.5GB/100 万ファイル

1.3.2 必要なメモリ量

NIAS (機能制限ライセンス)では、以下の目安のメモリを必要とします。

このとき、パス長を平均 100 文字程度として計算しています。

必要メモリ量 (目安)	管理対象データ容量 (ファイル数)
4GB	～ 1TB (約 200 万ファイル)
8GB	1TB (約 200 万ファイル) ～ 5TB (約 1000 万ファイル)
12GB	5TB (約 1000 万ファイル) ～ 10TB (約 2000 万ファイル)
16GB	10TB (約 2000 万ファイル) ～ 20TB (約 4000 万ファイル)
24GB	20TB (約 4000 万ファイル) ～ 30TB (約 6000 万ファイル)

1.3.3 NIAS の検査時間

標準的な NIAS の検査 (ファイルスキャン) 時間の目安は、フルスキャン実行時、100 万ファイルに対して 1 時間です。クイックスキャン実行時は、フルスキャンの 6 割程度の時間で終了します。

1.3.4 NIAS 使用ポート

NIAS では Web ブラウザによる管理画面表示を実装しているため、TCP ポート 8080 を使用しています。なお、リモート PC からの接続は Windows ファイアウォールにより制限されています。

2. NIAS を導入する

2.1 NIAS の導入を検討する

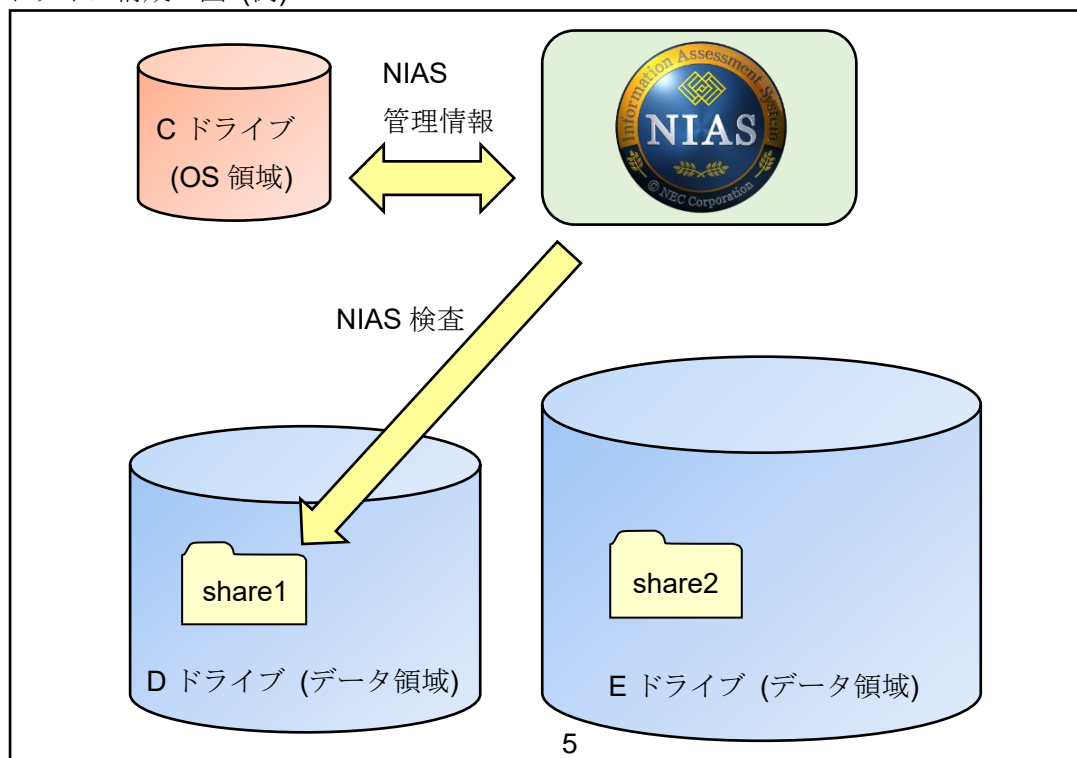
お客様のサーバー運用環境に応じて、NIAS の導入を検討してください。NIAS を使用する
場合、本項以下の各項に従い、設定を行ってください。NIAS を使用しない場合は、NIAS の
サービスの無効化、または NIAS をアンインストールしてください。NIAS のサービスの無
効化を行った場合、CPU やメモリ消費、ディスク負荷には影響は与えませんが、プログラ
ム格納のためのディスク容量消費とサードパーティー製ソフトとの共存に影響があります。
この影響を回避する場合は、NIAS をアンインストールしてください。詳細手順は、本書の
[【3.8 NIAS のサービスを無効化するには】](#) または [【3.10 NIAS をアンインストールするに
は】](#) をご覧ください。

2.2 NIAS を設定する

[動作環境]

D ドライブ上に作成している共有 share1 を NIAS の検査対象として出荷時設定しています。

ドライブ構成の図 (例)



[初期設定情報]

iStorage NS シリーズの出荷時における、NIAS 関連の基本設定は、下記のとおりです。

設定項目	設定
NIAS のインストール先フォルダー	C:\Program Files (x86)\NEC\NIAS
NIAS のデータ格納先フォルダー	C:\NEC\NIAS_DB
登録している NIAS のライセンス	機能制限ライセンス
NIAS 管理者ユーザー	niasadmin (パスワード : admin)
NIAS のサービス実行ユーザー	OS のビルトイン administrator (パスワード : スタートアップガイド記載のパスワード)
NIAS が保持している自サーバーのホスト名	各 iStorage NS シリーズのモデル名

NIAS の検査スケジュールの初期設定は、下記のとおりです。

設定項目	設定
検査スケジュール	毎週 土曜日 0 時 0 分
検査の種別	フルスキャン
対象のグループ	全グループ

NIAS のグループ毎の初期設定は、下記のとおりです。

設定項目	設定
グループ名	D グループ
検査パス	\\localhost\share1\
設定済みアカウント	administrator (パスワード:スタートアップガイド記載のパスワード)
グループ最大容量	1024GB

NIAS の実行可能時間帯の初期設定は、下記のとおりです。

設定項目	設定内容
実行日	すべての曜日
実行時間帯	終日
検査速度	高

上記設定について、見直しが必要な項目の変更手順を次項に記載します。

2.2.1 iStorage NS の初期設定を NIAS に反映する

以下の手順に従い、iStorage NS の初期設定にて変更した、ビルトイン Administrator のパスワードとコンピューター名を NIAS の設定にも反映してください。

1. iStorage NS に管理者権限でサインインし、C:¥Program Files (x86)¥NEC¥NIAS¥Tools 配下の NIASNetCfg.exe をダブルクリックします。
2. 起動された下記の画面で、変更後の Administrator のパスワード、および新コンピューター名を入力し、[OK] をクリックします。

NIAS初期設定ツール

※ネットワークのIPアドレスやホスト名、administratorユーザのパスワードの設定、Active Directoryへの参加等が完了した後、本設定を行なってください。

管理者ユーザー情報を入力してください。

ユーザ名: .¥administrator

パスワード: *****

☐ パスワードを表示する

NIASサーバ(本サーバ)にアクセスする際のホスト名を入力してください。

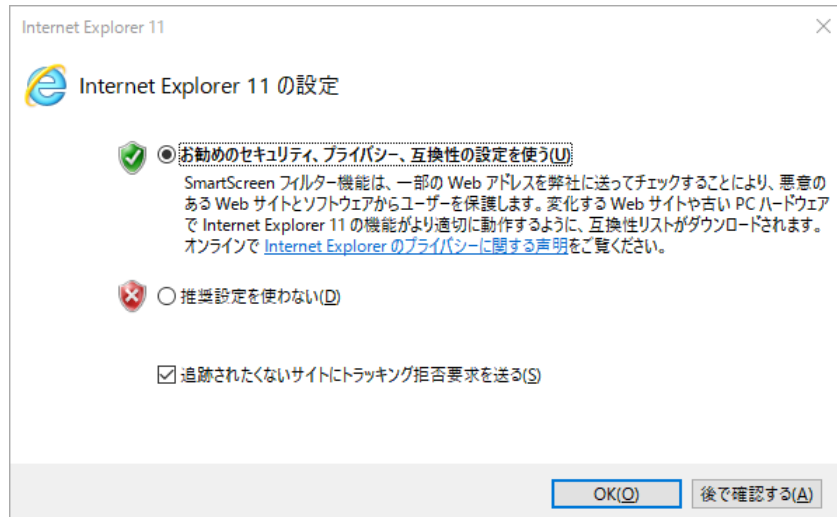
FILESV1

NIASサーバには「http://<ホスト名>:8080/ias-manager/」でアクセスできます。
ホスト名を入力して「テスト」ボタンを押すと、ブラウザを起動して確認できます。

テスト OK キャンセル

3. “NIAS の設定を入力した内容で更新します” の画面で、[OK] をクリックします。
4. 設定の完了後、“設定が完了しました” の画面が表示されるので、[OK] をクリックします。
5. iStorage NS のデスクトップ上にある、[NIAS 管理画面] のアイコンをダブルクリックして NIAS 管理画面を起動します。

6. 初回起動時には、下記のダイアログが表示されますので、お客様の運用に合わせて選択します。(どの設定を選択しても、NIAS 管理画面への影響はありません。)



7. NIAS 管理画面のログイン画面が表示されるので、下記を入力し、[ログイン] をクリックします。

ログイン ID : niasadmin

パスワード : admin

8. [設定] のタブをクリックし、設定を変更するグループの [編集] をクリックします。



9. [アカウント情報] のタブをクリックし、[設定済みアカウント一覧] の "administrator" の [編集/削除] を選択します。該当するアカウント名が表示されますので、[パスワードを編集する] をチェックし、変更後の Administrator のパスワードを入力して、[更新] をクリックします。

管理システム

整理依頼 自動整理 アクセス権 ログ 設定 ログアウト

グループ編集

基本情報 **アカウント情報** 詳細情報 実行可能時間帯情報

アカウント情報

接続対象パス * 例: ¥¥fileserver¥share¥
<デフォルトアカウント>

アカウント名 * 例: administrator
administrator

パスワード ☒ パスワードを編集する
例: @dMin1!
●●●●●●●●

ドメイン名 例: domain.local、または、DOMAIN

追加
更新
削除
リセット

設定済みアカウント一覧 接続確認

編集/削除	接続対象パス	アカウント名	ドメイン名
<input checked="" type="radio"/>	<デフォルトアカウント>	administrator	

戻る

10. “アカウント情報を編集します。よろしいですか？” の画面で [OK] をクリックします。
11. [接続確認] をクリックし、編集したアカウント情報で接続に成功すると“全検査パスの接続確認に成功しました。” の画面が表示されますので、[閉じる] をクリックします。
接続に失敗した場合は、アカウント情報を再度更新してください。

2.2.2 実行可能時間帯を変更する

NIAS の検査を実行できる時間帯として、検査曜日や検査時間帯、検査速度を設定できます。出荷状態では、すべての曜日の終日、検索速度が「高」で実行可能に設定しています。ファイルサーバーの運用状況に応じて、実行可能時間帯を変更してください。なお、ファイルサーバーを 24 時間運用しているなど、NIAS 検査に高負荷をかけて良い時間帯がなく、業務時間中に検査を実行する場合は、検査速度を「低」に設定することで、ファイルサーバーへの負荷を減らすことができます。

以下に、実行可能時間帯を変更する手順を説明します。

1. NIAS 管理画面にログインし、[設定] のタブをクリックします。
2. 設定を変更したいグループの [編集] をクリックします。

The screenshot shows the NIAS management interface. At the top, there are tabs: 整理依頼, 自動整理, アクセス権, ログ, 設定 (selected), and ログアウト. Below the tabs, there's a header for 'Assessment System' with a '自動更新' button and a help icon. The main content area is titled 'グループ一覧' (Group List). It includes a '統計検査状況' (Statistical Inspection Status) section with 'システム状態' (System Status) as 'スタンバイ' (Standby) and '次回検査日時' (Next Inspection Date/Time) as '2019/09/21 00:00'. There's a '統計検査実行' (Statistical Inspection Execution) button. Below this is the '個別状況' (Individual Status) section, which shows a table with 1 item. The table has columns: 検査対象 (checked), ID (1), グループ名 (Dグループ), 検査パス (¥¥localhost¥share1¥), 検査状態 (未実行), 最終更新日時, and 操作 (編集, 削除). The '編集' button is highlighted with a red box. At the bottom, there are buttons for 'グループ登録' (Group Registration) and 'コピーしてグループ登録' (Copy and Register Group).

3. [実行可能時間帯情報] のタブを選択します。下記表を参照し、実行日、実行時間帯、および検査速度の設定を行います。

設定項目	設定内容
実行日	検査を実行可能な曜日を設定
実行時間帯	終日、または〇時〇分～〇時〇分を選択 (5分単位)
検査速度	「高」または「低」を選択

グループ編集			
基本情報	アカウント情報	詳細情報	実行可能時間帯情報
実行可能時間帯設定			
実行日	* <input type="checkbox"/> 月曜日 <input type="checkbox"/> 火曜日 <input type="checkbox"/> 水曜日 <input type="checkbox"/> 木曜日 <input type="checkbox"/> 金曜日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日		
実行時間帯	* <input checked="" type="radio"/> 終日 <input type="radio"/> 〇時 〇分 ~ 〇時 〇分		
検査速度	* 高		
設定済み実行可能時間帯一覧			
編集/削除	実行日		
<input type="radio"/>	月・火・水・木・金・土・日曜日		終日
<input type="button" value="戻る"/>			

2.2.3 検査スケジュールを変更する

NIAS 管理画面で参照できる見える化データは、この検査スケジュールの実行結果です。お客様の要求レベルに応じて、検査の頻度を決定してください。なお、出荷状態では、全グループに対して、毎週土曜日の 0 時 0 分にフルスキャンを実行するように、NIAS の検査スケジュールを設定しています。

【注意】

- ・ 検査中は、CPU 負荷が 20～30%程度上がり、検査対象のディスクに負荷がかかります。
- ・ 検査スケジュールの開始時刻に OS が起動していない場合、その検査はスキップされます。
- ・ 検査結果はデフォルトで 36 回分が保存され、それ以前の検査結果は削除されます。

以下に、検査スケジュールを変更する手順を説明します。

1. NIAS 管理画面にログインし、[設定] のタブをクリックします。
2. 左画面の [スケジュール] をクリックして、設定を変更したいグループの [編集] をクリックします。

3. フルスキャンの開始日時を変更する場合は、下記表を参照し、[検査スケジュール(全グループ)設定]にて開始日時を変更します。クイックスキャンを使用する場合は、[設定済み検査スケジュール(全グループ)]にて、“クイックスキャン”を選択し、同様に開始日時を設定します。

設定項目	設定内容
開始日時	以下の 5 パターンから選択し、開始日時を設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年単位 (毎年) ・ 月単位 (1 ヶ月毎～12 ヶ月毎) ・ 週単位 (1 週間毎～4 週間毎の○曜日) ・ 日単位 (毎日～31 日毎) ・ 一回のみ

検査スケジュール(全グループ)設定

開始日時: ☐ 年 毎年 ☐ 月 毎月 ☒ 週 毎週 ☐ 日 毎日 ☐ 一回のみ

☐ 月曜日 ☐ 火曜日 ☐ 水曜日 ☐ 木曜日 ☐ 金曜日 ☒ 土曜日 ☐ 日曜日

2019年 1月 1日 0時 0分

更新種別: ☒ フルスキャン ☐ クイックスキャン

更新 削除

設定済み検査スケジュール(全グループ)

編集/削除	開始日時	次回実行日時
<input checked="" type="radio"/>	毎週 土曜日 0時0分 (フルスキャン)	2019年9月21日 0時0分
<input type="radio"/>	未設定 (クイックスキャン)	

戻る

【補足】

フルスキャン と クイックスキャン の違いは、以下の通りです。

- ・ フルスキャン

NIAS に必要な全ての情報を取得します。

- ・ クイックスキャン

フルスキャンのうち、以下の情報取得を省略します。そのためフルスキャンに比べて検査時間の短縮 (約 40%) が期待できます。ただし、初回検査の場合は、必ずフルスキャンで実行されます。

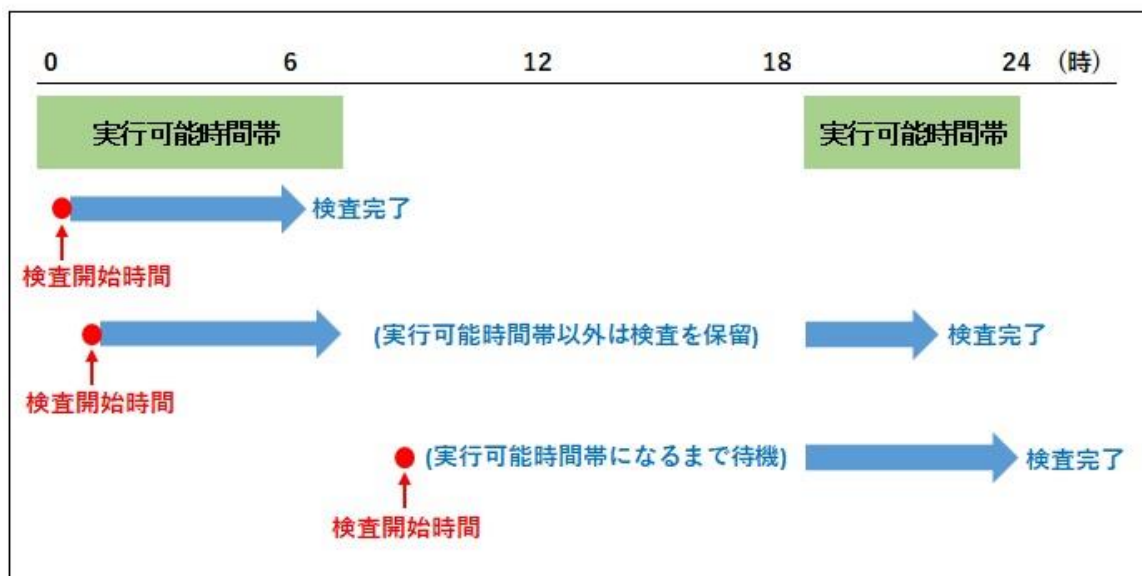
- ファイル・フォルダーのアクセス権情報
- ファイル・フォルダーの所有者情報

3. NIAS を運用する

3.1 検査を実行するには

NIAS の検査を実行するにあたり、グループ毎に検査の実行が可能な時間帯（実行可能時間帯）と検査スケジュールを設定します。検査は、実行可能時間帯でのみ実行されますので、お客様の基本的な運用スケジュールに合わせて実行可能時間帯を設定してください。開始した検査が実行可能時間帯内に完了しなかった場合は、検査が保留され、次の実行可能時間帯に再開されます。また、設定した実行可能時間帯外に検査スケジュールを設定した場合、実行可能時間帯になるまで検査は待機されます。

検査実行のイメージ (例)



3.1.1 実行可能時間帯を設定する

以下に、実行可能時間帯を変更する手順を説明します。

1. NIAS 管理画面にログインし、[設定] のタブをクリックします。
2. 設定を変更したいグループの [編集] をクリックします。

The screenshot shows the NIAS management interface. At the top, there is a navigation bar with tabs: 整理依頼, 自動整理, アクセス権, ログ, 設定 (selected), and ログアウト. Below the navigation bar, the main content area is titled 'グループ一覧' (Group List). It includes a '統計検査状況' (Statistical Inspection Status) section with 'システム状態' (System Status) set to 'スタンバイ' (Standby) and '次回検査日時' (Next Inspection Date/Time) set to '2019/09/21 00:00'. A '統計検査実行' (Statistical Inspection Execution) button is also present. Below this is the '個別状況' (Individual Status) section, which contains a table. The table has columns: 検査対象 (Inspection Target), ID, グループ名 (Group Name), 検査パス (Inspection Path), 検査状態 (Inspection Status), 最終更新日時 (Last Update Date/Time), and 操作 (Action). The first row shows a checked checkbox for '検査対象', ID '1', 'Dグループ' for 'グループ名', '¥¥localhost¥share1¥' for '検査パス', and '未実行' (Not Executed) for '検査状態'. The '操作' column for this row contains '編集' (Edit) and '削除' (Delete) buttons, with '編集' highlighted by a red box. At the bottom of the table, there are buttons for 'グループ登録' (Group Registration) and 'コピーしてグループ登録' (Copy and Register as Group).

3. [実行可能時間帯情報] のタブを選択します。下記表を参照し、実行日、実行時間帯、および検査速度の設定を行います。

設定項目	設定内容
実行日	検査を実行可能な曜日を設定
実行時間帯	終日、または〇時〇分～〇時〇分を選択 (5分単位)
検査速度	「高」または「低」を選択

グループ編集			
基本情報	アカウント情報	詳細情報	実行可能時間帯情報
実行可能時間帯設定			
実行日	* <input type="checkbox"/> 月曜日 <input type="checkbox"/> 火曜日 <input type="checkbox"/> 水曜日 <input type="checkbox"/> 木曜日 <input type="checkbox"/> 金曜日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日		
実行時間帯	* <input checked="" type="radio"/> 終日 <input type="radio"/> 〇時 〇分 ~ 〇時 〇分		
検査速度	* 高 <input type="button" value="v"/>		
設定済み実行可能時間帯一覧			
編集/削除	実行日		
<input type="radio"/>	月・火・水・木・金・土・日曜日		終日
<input type="button" value="戻る"/>			

3.1.2 検査スケジュールを設定する

検査スケジュールを設定する手順を説明します。

1. NIAS 管理画面にログインし、[設定] のタブをクリックして、左画面の [スケジュール] をクリックします。
2. 以下の画面で、検査スケジュールの範囲を選択します。複数のグループが存在する場合、[検査スケジュール (全グループ)] を選択すると、全てのグループに対して同じスケジュールを設定できます。[検査スケジュール (グループ単位)] を選択するとグループ単位でスケジュールを設定できます。

グループ名	開始日時	次回実行日時	操作
全グループ	毎週 土曜日 0時0分 (フルスキャン)	2019年9月21日 0時0分	編集

3. 設定を変更したいグループの [編集] をクリックします。

4. 下記表を参照し、開始日時と更新種別を設定して、[更新] を押下します。なお、全グループに対する検査スケジュールを設定する場合、[設定済み検査スケジュール(全グループ)] 配下で、“フルスキャン” または “クイックスキャン” を選択します。

設定項目	設定内容
開始日時	以下の 5 パターンから選択し、開始日時を設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年単位 (毎年) ・ 月単位 (1 ヲ月毎～12 ヲ月毎) ・ 週単位 (1 週間毎～4 週間毎の○曜日) ・ 日単位 (毎日～31 日毎) ・ 一回のみ
更新種別	フルスキャン、またはクイックスキャンを選択

整理依頼
自動整理
アクセス権
ログ
設定
ログアウト

ment System

検査スケジュール(全グループ)設定

○年 毎年
○月 毎月
●週 毎週
○日 毎日
○一回のみ

☐月曜日
☐火曜日
☐水曜日
☐木曜日
☐金曜日
☒土曜日
☐日曜日

2019年
1月
1日
0時
0分

更新
削除

更新種別

●フルスキャン
○クイックスキャン

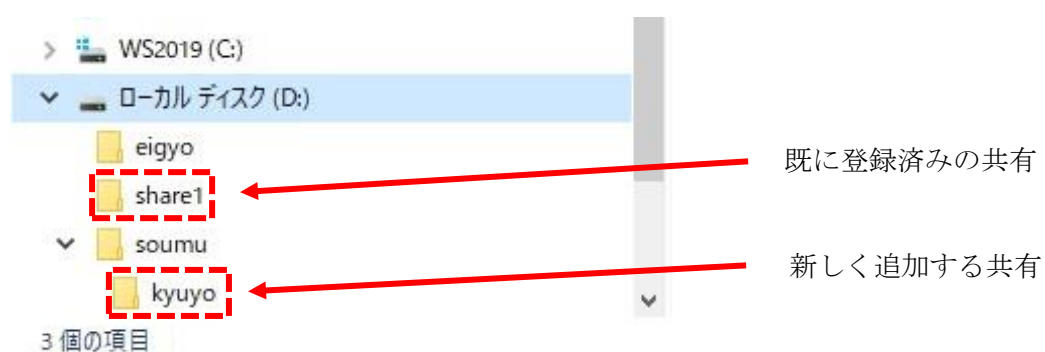
設定済み検査スケジュール(全グループ)

編集／削除	開始日時	次回実行日時
●	毎週 土曜日 0時0分 (フルスキャン)	2019年9月21日 0時0分
○	未設定 (クイックスキャン)	

戻る

3.2 既存のグループに共有を追加するには

Dドライブに存在する共有を既存のグループに追加する手順を説明します。例として、下記では既存の D グループに新しい共有 (kyuyo) を追加する手順を説明します。なお、グループに登録済みの配下に位置する共有を登録すると、NIAS で算出する容量の整合性が保てませんので注意が必要です。



1. NIAS 管理画面にログインし、[設定] のタブをクリックします。
2. 設定を変更したいグループの [編集] をクリックします。

3. [検査パス] の入力フィールドに追加したい共有を UNC パスで入力し、[更新] をクリックします。

Assessment System

グループ編集

基本情報 アカウント情報 詳細情報 実行可能時間帯情報

グループ情報

グループ名 * Dグループ

ログインID ☐ Active Directoryユーザ/グループIDでログインする

ログインパスワード ☐ パスワードを編集する

検査対象設定

検査パス *

例：¥¥fileserver¥share¥
¥¥localhost¥share1¥
¥¥localhost¥kyuyo¥

戻る 更新

4. グループ情報の編集を確認するメッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。

3.3 新しいグループを作成し共有を追加登録するには

新しいグループを作成し、共有を登録する手順については【NIAS (機能制限ライセンス) 利用ガイド 2. 初期設定 : NIAS の管理対象 (グループ) を設定する】をご覧ください。

3.4 Administrator のパスワード変更またはコンピューター名の変更を NIAS に反映するには

iStorage NS の OS のビルトイン Administrator のパスワードを変更した場合、またはコンピューター名を変更した場合は、NIAS の設定を変更してください。詳細な手順については、本書の【[2.2.1 iStorage NS の初期設定を NIAS に反映する](#)】をご覧ください。

3.5 ビルトイン Administrator のユーザー名を変更した際の対処

iStorage NS の出荷時設定では、NIAS のサービスを起動するユーザー名として、ビルトイン Administrator のユーザー名を設定しています。このため、Administrator を別の名前に変更すると、設定していたユーザー名が存在しなくなるため、下記の 4 つのサービスの起動が失敗するようになります。

サービス名	表示名
Information Assessment System Agent Service	IAS_AGENT
Information Assessment System Booster Service	BST_WINSVC
Information Assessment System Scheduler Service	IASSCHEDULER
Apache Tomcat 9.0 Tomcat9	Tomcat9

サービス起動の失敗を回避するため、ビルトイン Administrator のユーザー名を変更した際には、下記の手順 1 と手順 2 を実施し、上記 4 つのサービスを起動するユーザー名として、変更後の名前を設定してください。

□手順 1： 各サービスのアカウント/パスワード変更

1. iStorage NS のデスクトップ上のアイコンから [管理者メニュー] を起動し、一覧から [サービス] ツールを起動します。
2. サービスの一覧より、"Apache Tomcat 9.0 Tomcat9" をダブルクリックします。
3. サービスのプロパティが表示されたら、[ログオン] タブをクリックします。
4. "アカウント" 欄の [参照] ボタンをクリックします。
5. 起動した [ユーザーの選択] 画面で、[場所の指定] に自コンピュータの名前が表示されていることを確認します。(ドメイン環境の場合、本欄にドメイン名が表示されていたら、[場所] ボタンをクリックし、自コンピュータを選択してください)
6. [選択するオブジェクト名を記入してください] 欄に、ビルトイン Administrator アカウントのリネーム後の名前を記入し、[名前の確認] ボタンをクリックします。
7. [選択するオブジェクト名を記入してください] 欄に記入した名前が、
＜自コンピュータ名＞¥＜記入した名前＞
となり、アンダーバーが表示されていたら、名前が確認済みとなりますので、[OK] をクリックします。
8. サービスのプロパティの [アカウント] 欄が、「¥＜記入した名前＞」となっていることを確認します。
9. [パスワード] 欄と、[パスワードの確認入力] 欄に、指定したユーザーのパスワードを入力します。
10. [OK] をクリックします。
11. 上記 2.～10.と同様の手順を、下記 3 つのサービスに対しても実施してください。
Information Assessment System Agent Service
Information Assessment System Booster Service
Information Assessment System Scheduler Service

以上で、サービスのアカウント名とパスワード変更は完了です。

※サービスの開始は、ここでは実施しません。手順 2 で実施します。

□手順 2： 各サービスの開始

[サービス] ツールにて、下記の①～④の順番で、サービス名を右クリックし、[開始] をクリックしてください。サービス開始が成功すると、各サービスの [状態] 欄に「実行中」と表示されます。

- ① Information Assessment System Agent Service
- ② Information Assessment System Booster Service
- ③ Information Assessment System Scheduler Service
- ④ Apache Tomcat 9.0 Tomcat9

なお、サービス開始に失敗し、「エラー1069:ログオンに失敗したため、サービスを開始できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合は、該当サービスのパスワードの再入力 (前述の手順 1 の 9.) を実施し、再度サービス開始を実施してください。

以上の手順で、起動が失敗していた NIAS の 4 つのサービスが起動できたら、対処完了です。

3.6 検査対象を増やすには

iStorage NS シリーズの出荷状態では、検査対象の容量を 「1TB (約 200 万ファイルを想定)」 に設定しています。検査対象を増やす場合は、以下について確認し、必要に応じて対応してください。

- 搭載メモリ量
検査対象を増やした場合、使用メモリ量も増加します。考慮すべき必要メモリ量については、本書の【[1.3.2 必要なメモリ量](#)】をご覧ください。
- C ドライブのディスク使用容量
検査対象を増やした場合、C ドライブの使用ディスク容量も増加します。考慮すべきディスク容量については、本書の【[1.3.1 ディスク使用量](#)】「検査対象管理データ」をご覧ください。
- 検査スケジュール/実行可能時間帯
検査対象を増やした場合、検査の所要時間が長くなります。検査の所要時間は、フルスキャン実行時、100 万ファイルに対して 1 時間を目安に調整してください。変更手順については、本書の【[3.1 検査を実行するには](#)】をご覧ください。
- シャットダウンのタイムアウト時間
検査対象を増やした場合、シャットダウン時に NIAS の管理データをディスクに書き

出すための時間が長くなります。シャットダウンスクリプトのタイムアウト時間は、1TB (約 200 万ファイル) 毎に 30 分延長する必要があります。また、合わせて OS のプレシャットダウンのタイムアウト時間の見直しも必要です。変更手順については、本書の【[3.7 シャットダウンのタイムアウト時間を変更するには](#)】をご覧ください。

【注意】

シャットダウンのタイムアウト時間を延長すると、場合によっては、シャットダウン完了までの時間が長くなるため、計画運用等に影響を与えないか検討してください。

3.7 シャットダウンのタイムアウト時間を変更するには

以下に、シャットダウンスクリプトのタイムアウト時間と、OS のプレシャットダウンのタイムアウト時間を変更する手順を説明します。

1. シャットダウンスクリプトのタイムアウト時間を変更します。iStorage NS に管理者権限でサインインし、スタートアップメニューから、[ファイル名を指定して実行] を選択し、"gpedit.msc" を入力して [Enter] キーを押下します。
2. [コンピューターの構成] - [管理用テンプレート] - [システム] - [スクリプト] にある [グループポリシースクリプトの最大待機時間を指定する] をダブルクリックします。
3. [有効] を選択して[時間 (秒)] の値を[既定の 600 秒+延長時間] に変更し、[適用] をクリックして [OK] をクリックします。OS の既定値に戻す場合は、[未構成] を選択し、[適用] をクリックして [OK] をクリックします。
4. OS のプレシャットダウンのタイムアウト時間を変更します。スタートアップメニューから、[ファイル名を指定して実行] を選択し、"regedit"を入力して [Enter] キーを押下します。
5. レジストリエディターが起動したら、以下にアクセスします。
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥gpsvc
6. 右画面の [PreshutdownTimeout] をダブルクリックします。

3. 処理が完了したことを示すメッセージを確認し、コマンドプロンプト画面を閉じます。

なお、NIAS のサービスを有効化すると、OS のサインイン時に NIAS 管理画面を自動起動するショートカットが出荷時状態で作成されます。NIAS 管理画面のログイン ID (NIAS ローカル ID) または、パスワードを出荷時状態から変更していた場合、自動起動した NIAS 管理画面がログイン失敗となります。そのため、【NIAS (機能制限ライセンス)利用ガイド 付録 D. NIAS のスタートアップ起動】を参照して変更していたログイン ID/パスワードを自動起動するショートカットに設定してください。

3.10 NIAS をアンインストールするには

NIAS と関連モジュールのアンインストール、および OS 設定の変更手順を説明します。

【注意】

一度 NIAS をアンインストールすると、バックアップ DVD から OS を再インストールする以外に、NIAS を再インストールする方法はありません。

なお、NIAS サービスが有効である場合は、以下の手順で NIAS サービスを無効化後、アンインストールしてください。

1. iStorage NS に管理者権限でサインインし、管理者権限のコマンドプロンプトを起動します。
2. 以下のコマンドを実行します。
C:¥NEC¥iStorageNS¥nias¥NIAS 無効化.bat
3. 処理が完了したことを示すメッセージを確認し、コマンドプロンプト画面を閉じます。

3.10.1 NIAS のアンインストール

以下の手順に従い、NIAS をアンインストールしてください。

1. iStorage NS に管理者権限でサインインし、管理者メニューの [プログラムと機能] をクリックします。

2. 表示されたプログラムの中から、“**NEC Information Assessment System <バージョン番号>**” を右クリックし **[アンインストール]** を選択します。
3. 画面に従ってアンインストールします。インストーラーが開始してしばらく待つと、**PostgreSQL** サーバーのアンインストール確認のポップアップが表示されますので、**[はい]** をクリックします。
4. アンインストールが完了したら、**[閉じる]** をクリックします。

【補足】

NIAS のアンインストールに伴い、**OpenJDK12** も同時にアンインストールされます。

3.10.2 Apache Tomcat のアンインストール

以下の手順に従い、**Apache Tomcat** をアンインストールしてください。

1. **iStorage NS** に管理者権限でサインインして、管理者メニューの **[プログラムと機能]** をクリックし、表示されたプログラムの中から **[Apache Tomcat 9.0 Tomcat9 (remove only)]** を右クリックして **[アンインストールと変更]** を選択します。
2. **Apache Tomcat** の画面に従い、アンインストールを実行します。
3. アンインストールが完了したら、**[Close]** をクリックします。

3.10.3 NIAS シャットダウンスクリプトの削除

以下の手順に従い、**NIAS** シャットダウンスクリプトを削除してください。

1. **iStorage NS** に管理者権限でサインインし、スタートアップメニューから、**[ファイル名を指定して実行]** を選択し、“**gpedit.msc**”を入力して **[Enter]** キーを押下します。
2. **[ローカル コンピューター ポリシー] – [コンピューターの構成] – [Windows の設定] – [スクリプト (スタートアップ/シャットダウン)]** を選択し、右画面の **[シャットダウン]** をダブルクリックします。

3. [シャットダウンのプロパティ] のファイル一覧から “pgshutdown.cmd” を選択し、[削除] をクリックします。選択されたファイルが一覧から削除されたことを確認して、[OK] をクリックします。

3.10.4 シャットダウンのタイムアウト時間を OS の既定値に変更

シャットダウンスクリプトのタイムアウト時間と、OS のプレシャットダウンのタイムアウト時間の値を OS の既定値に戻してください。詳細な手順は、本書の【[3.7 シャットダウンのタイムアウト時間を変更するには](#)】をご覧ください。